

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったものですね。ようやく秋が訪れました。



【神無月】

十月は神無月。各地の神々が出雲に集まり、相談をなさる月だそうです。出雲の国以外の諸国では、神様がお留守なので神無月といえます。出雲に限っては神有月と呼び、神在祭の神事が行われます。『奥義抄』という本に書いてあるこの説が一般的です。

また一説には、神々が集まるのは出雲でなく伊勢で、大神に新穀を供える祭の月だから「神嘗月」が正しいともいわれます。十七日は神嘗祭で伊勢神宮の大祭、宮中では賢所神嘗祭があります。

各地の神々の不在はほぼ一か月で、各地ではこの神々を送り迎える「神送り神迎え」の行事があり、その間の留守番はエビス神やカマドの神。この神がその不在の神々の代役を務めるといふことです。

【神嘗祭】十月十七日

十月十七日は神嘗祭があります。これは、正しくは「かんにへまつり」と言い、伊勢神宮において、その年にとれた一番はじめの稲穂(初穂)を天照大御神に奉る大祭中の大祭です。古事記によると、天孫降臨の際、天照大御神は、瓊瓊杵尊に

次のような神勅を与えます。

「豊葦原の千五百秋の瑞穂の国は、是れ吾が子孫の王たるべき地なり。宜しく爾皇孫就きて治せ、行矣。宝祚の隆えまきむこと、まさに天壤と窮りなかるべし」わかりやすくいうと、「稲の穂が豊かに実る国、日本は私の子どもたちの国です。子どもたちのために、お米がたくさんとれて、みんなが幸せに暮らせる、平和な国ができるよう、治めて下さい。すてきな国柄も永遠に栄え、天地と共にどこまでも続くでしょう。」と。

そして、この時天照大御神ご自身が高天原でお作りになった稲穂を親しく授けられ、この稲穂を播き継いで日本を永遠に栄えさせよと仰せられました。



日本民族の主食である稲は「天の御心を地上に」という天孫降臨の御神勅とともに授けられたと「日本書紀」や

「古事記」に記されています。農業によって栄えてきた稲穂豊かな国、日本。この農業起源の恩に感謝し、その年の稲が初めて穂をつけた時、喜びと感謝の心いっぱい、神様に初穂をお供えするのが、神嘗祭というお祭りなのです。二千年以上も、このような祭りを通して代々天皇様は、神の言葉に心澄ませ、無私(むし)の心で民の幸せと国家、人類の繁栄を祈り続けてこられています。

秋まつり ～母から子へ～

いつもの年なら、もうすぐ〇〇神社のお祭りね。今年は新型コロナウイルスの影響で中止になったけど、産土の神様は、いつもこの土地に住む人皆が健康で楽しく明るく豊かな生活ができるように見守って下さっているのよ。だから、お祭りは中止になっても、いつもみんなを護って下さってありがとうございませうね。産土の神様は、日本の国の中心の天照大御神に仕えられているのよ。

天照大御神は、日本の一番始めの天皇様、神武天皇の曾祖父さまの瓊瓊杵尊を地上にお降しになる時、ご自分が育てた稲を授けられ、「天の素晴らしい世界を地上に現しなさい。神の心を地上に実現しなさい」と言われたのよ。そのお陰で、日本はお米の実り豊かな国になり、皆が幸せに暮らせているの。

稲という天の恵みに感謝し、その年の稲が初めて穂をつけた時、喜びと感謝の心で神様に初穂をお供えする神嘗祭という大切なお祭りが伊勢であるのよ。お祭りを通して二千年以上もずっと天皇様は、神様の言葉に心澄ませ、まごころを尽くして、国民と世界の人々の幸せを祈り続けてこられたのです。

世界中の人が幸せになるようにお役に立てる人になれたらいいね。学校で、みんなが仲良くできるように、友達を助け、優しくしてあげてね。



てらこやで おはなをみたよ きいろいはな

おそとでみたいな かぼちゃのはな

年少 K・M

☆かぼちゃの花は、黄色くて大きな花びらでしたね。

おやまでね あそびたかった みんなでね

てみたいなはっぱ みつけたんだ

年長 K・Y



☆お山で、人の手みたいな葉っぱをみつけたのね。

ごぼうのみ ちくちくしたよ はじめてだった

きもちよかった またさわりたい

てらこやで おしゅうじしたよ たのしいな

「つり」をかけたよ うれしかったよ

年長 N・Y

☆初めて見たごぼうの実はちくちくしておもしろかったですね。

ごぼうのみ 手につけてみた ひつついた

とげとげしてて いたかったよ

小学二年 M・S



☆ごぼうの実は、とげとげがあつて、ひつつきましたね。

習字でね 「海底」という字を書いたんだ

初めて書いた きれいにかけた

小学四年 M・E

☆難しい字でしたが、伸び伸びと楽しく書けましたね。

雨上がり 雨のにおいが ぶんぶんと

これから晴れる 太陽笑顔

小学六年 M・F

☆雨上がりのさわやかさをおいで表現しましたね。うれしい気持ち表れていますね。

天の川 七夕の夜 流れてる

たんざくかざり 空を見上げる

中学一年 Y・Y

☆七夕飾りをして、空を見上げたのですね。天の川は見えたかしら。



十月二十四日(土) 生命の教育講演会

◇ 「子ども達に心の根っこと翔く翼を」

伊藤八郎氏

◇ なでしこホール 午後二時～四時

素敵なお話です♪ 楽しみにおいで下さい

♪。

声に出してひびきを味わおう

今月の言葉

万葉集

かきのもとしとまる
柿本人麻呂

敷島の

大和の国は

言霊の助くる国ぞ

真幸くありこそ

(大意)

日本の国は言葉に宿る霊力が、人の幸せを助けてくれる国ですから、私は声に出して「どうぞ無事でいらして下さい」と申し上げます。(遣唐使に行く人に)

次のなでしこ寺子屋は

十一月二十三日(土) 六階和室です。

(藤波礼子)